

北部自治体学校

みんなで考えよう！ 住民の暮らしを守る自治体の役割

— 「公共サービスの産業化」、住民と自治体職員との協働—

■講演：「公共サービスの産業化」で
誰が幸せになるのか
～自治体は誰のもの？～

岡田知弘氏 (京都大学大学院経済学研究科教授)

■報告①：「自治体職員の役割とやりがいてナニ？」
大石真紀子氏 (長野県阿智村職員)

■報告②：北部各地から

安倍内閣は「骨太方針2015」で、本格的に「公共サービスの産業化」を打ち出しました。京都北部でも、給食センターの民営化、窓口業務の外部委託化の動きが出てきています。このような動きは、自治体の公共性の変質であり、住民の福祉の増進を担う自治体の役割とは逆行します。

今回の学校では、「公共サービスの産業化」の動きが出てきた背景と本質を明らかにし、住民の暮らしと権利を保障する公共業務のあり方、自治体の役割を考えます。



日時：2017年3月4日(土) 13:30~16:45
会場：綾部市 I Tビル (TEL 0773-42-1920) 多目的ホール

参加費
無料

主催：一般社団法人 京都自治体問題研究所
北部自治体学校実行委員会

連絡先：京都自治体問題研究所
電話：075-241-0781 mail: kyoto@kyoto-jichiken.jp